

市政に対する 一般質問

一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をたずねることができるものです。
3月定例会では、3月17日・18日の本会議で15人の議員から質問が行われ、終始熱の入った論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です(掲載は質問順、6面まで続きます)。



市の鳥「かわせみ」

地域と一体の防犯体制の 確立で子ども達の安全を

あやせ市民会議 青柳 慎

問 昨年、京都宇治小学校で起きた児童への傷害事件以来、各地で不審者の学校侵入事件が連続しているが、市は、どのような対策をとったのか。学校防犯は教職員だけに頼るのではなく、地域と協力して共通マール入りのジャンパーを着てパトロールするなど、学校周辺の安全を守るために目に見える活動を始めなければならぬと考える。また、広報により地域の協力を呼びかけ学校支援ボランティアを公募するなど、子ども達が安全に通学できるように地域と一体となった防犯体制の確立を進めるべきだと思ふ。

は、昨年六月から安全パトロール隊を結成し巡回を実施している。今後、多くの市民が参加できる学校支援の仕組みづくりを考えてきたい。(他に「市長選挙の投票率を上げるには」「基地対策問題について」「複合型商工会館建設について」を質問)

応が必要と考える。市民は子どもの安全対策に関心が高く、二千七百七十人の署名とともに市長に要望したところであるが、学校や通学路の巡回など警備体制を強化し、教員には危機管理意識の向上のため防犯訓練や研修を、子ども達には防犯教育を実施し、学校の安全対策を総点検してマニュアルを策定するなどの安全管理を徹底しないか。また、登下校時

荒廃農用地の火災 や不法投棄を防止 し農用地の保全を

あやせ市民会議 増田淳一郎

問 深谷中村地区には、民家の近くに広大な荒廃農地があるが、市では今までのこの農地の所有者に対し、農用地保全の観点から、どのような指導をし、その指導に対して、地権者からは回答があったのか。この場所は、非常に多くの枯れ草があり、以前にはここに放置された自動車か

ら火災が発生したことがある。近くには民家があることから、今まで地権者に対し、何らかの防火の指導をしたことはあるか。また、現在、多数の廃棄自動車やその他の廃棄物があるが不法投棄防止対策等を地権者と話し合ったことがあるか。
答 遊休農地の解消と周辺農地への影響を考慮して、平成十年頃から地権者に対し適正管理の指導をしている。また、この農地のうち、廃棄物が少なく住宅地に隣接する所を市

地域の子育て支援拠点の 整備と保育環境の充実を

新政治会 綱嶋 洋一

問 日本の将来にかかわる少子化問題の対応策として、子育て家庭を社会全体で支援していく仕組みづくりと母親などが子育てに喜びを感じ

る環境の整備が大きな課題である。現在、本市では子育てを地域や社会が支援する仕組みの一つとして、綾南保育園に子育て支援センターを併設しているが、一カ所では不足であり、必要な拠点を設置すべきと考え

学校や通学路での 子ども達の安全対策を 早急に求める

公明党

松澤 堅一

問 全国的に学校内や通学路で子どもが襲われる事件が相次ぎ、大きな社会問題となっており、早急な対応が必要と考える。市民は子どもの安全対策に関心が高く、二千七百七十人の署名とともに市長に要望したところであるが、学校や通学路の巡回など警備体制を強化し、教員には危機管理意識の向上のため防犯訓練や研修を、子ども達には防犯教育を実施し、学校の安全対策を総点検してマニュアルを策定するなどの安全管理を徹底しないか。また、登下校時

は、昨年六月から安全パトロール隊を結成し巡回を実施している。今後、多くの市民が参加できる学校支援の仕組みづくりを考えてきたい。(他に「市長選挙の投票率を上げるには」「基地対策問題について」「複合型商工会館建設について」を質問)

親子のCAPプログラム で子どもの権利の学習を

神奈川ネット 渡部 市代

問 本市も防犯用の監視カメラを小学校に設置する予定とのことだが、あくまで抑止力にしかならないと思ふ。この考えのまま、これから至るところに設置していくとその弊害も出てくると思ふが、設置の効果や管理上の問題点についてどう考えているのか。また、被害を受けそうになった時、子ども自身が自分の身を守るCAP(子どもへの暴力防止)プログラムは有効である。保護者にもこのプログラムで子どもの権利について理解してもらおうなど、大人も対象とすることや学習の定着化が大切であるが、今後その予定はあるのか。

答 監視カメラは校舎の出入口等に設置し出入りする人や車を職員室のモニターで確認できるもので校内の安全対策に効果があるが、一番の効果は侵入を未然に防ぐ抑止効果と考えている。なお、終始モニターで監視することは不可能なため、校内の監視を徹底していく。学校では子ども自身が暴力から身を守る方法をロールプレーという寸劇などを通して、誰もが持っている権利について学び、権利が侵されそうなどときの対処方法の指導を計画的に実施している。今後も児童を始め教職員や保護者を対象に継続して実施していく。(他に「環境啓発事業について」を質問)



毎年恒例の朝市が、4月4日から始まりました。小雨がぱらつく会場には、朝早くから大勢の人が詰めかけ大盛況でした。市民文化センター駐車場で

答 今後の子育て支援は地域における体制づくりが必要であり、子育て支援センターの全体構想は、現在のセンターの利用状況を見極めながら、内容拡充も併せ、適切な拠点づくりに向け取り組む。保育園の待機児童の解消は、幼保共用化や保育所の定員増などの施策があり、現在、策定作業中の次世代育成支援行動計画の中で検討、反映していく。延長保育や休日保育の充実についても、市民ニーズを的確にとらえた対応が重要であるため、アンケート調査の結果や策定委員会の意見を踏まえ、計画に反映していく。(他に「交通安全対策について」を質問)